



「日野町議会」

議会だより

住民のみなさまと議会をしっかりと



日野小学校



桜谷小学校



西大路小学校



南比都佐小学校



必佐小学校

町内5つの小学校で行われた
運動会の様子

INDEX

令和5年度日野町総合防災訓練	P.2
委員会からの報告	P.4～6
11議員一般質問に立つ	P.8～19
議員のうごき	P.22

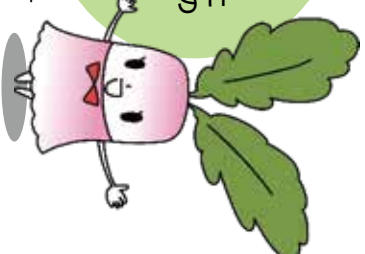
滋賀県日野町議会 令和5年9月定例会号(令和5年11月15日発行)

9月議会

9月1日から27日に
開催された定例会の
結果を

お知らせします。

日野菜のPRキャラクター
あのなひのな



すぐそこに！！ 迫りくる大規模災害



9月3日(日) 鈴鹿西縁断層帯を震源とする大地震を想定した訓練が必佐小学校で行われました。災害対策本部を設置し参加いただいた団体・企業との連携など、議員も参加し、多くの関係機関との体制を確認。

AED講習やドローン飛行、防災食や気象についてのブースも設けられ、日常の中でできる防災・減災についての興味を持っていただける場となりました。



参加協力企業・団体 みなさんから

1 日野町防災士連絡会 辻 友代さん



皆さんの身近で防災活動・訓練などがあれば是非参加してみてください。

近年自然災害の程度も大きくなっています。

役立つ知識を得ていることで、命を守り被害の程度も小さくすることができるのではないのでしょうか。

2 株式会社オカイチ・ Works Oka 岡 岳志さん



ドローンによる災害時応援協定に伴い、日野町総合防災訓練に参加させていただきました。

各団体様が防災訓練に対応される姿を見て、私どもも災害発生時には微力ではございますが、自分たちができると協力できればと思っています。

3 滋賀県造園協会東地区 小田造園 小田 浩さん



もし被災者になってしまった時どこを頼ればよいのか、また、救助に向かう場合必要なことは何か周知出来たと感じました。

私共、造園協会は作業の経験を活かし、まず救助へ向かう動線を確認する立場である事を常に自覚しておこうと思います。



詳しくは日野町防災マップで→



社会に届け、 まっすぐに真剣な私の思い!!

8月19日(土)、「中学生広場」は県民の中学生に対する理解を深めるきっかけとすることを目的に、毎年、県内を巡回し開催されています。今年度は日野町わたむきホール虹を会場に、日野中学校の生徒会が中心となり、事前準備から当日の運営まで担ってくれました。議員も地元役員として参加しました。

私は中学生広場の実行委員長に立候補しました。責任ある役割を務めることができるか不安でしたが、関係者の方々から応援をいただき、自分を信じて仲間と支え合って大会を成功に導くことができました。貴重な経験としてこれからの成長に活かしていきたいと思います。

実行委員長 日野中学校 齋藤博史



発表者・運営者とも中学生で、とても素晴らしい社会教育の場だと感じました。今考えていることを言語化して表現することは難しいけれど、興味深く、面白いです。コミュニティスクールの教材として、地域・PTA・小中学生みんなに毎年見てほしいと思います。

日野町青少年育成町民会議副会長 野矢貴之



氏郷まつり「夏の陣」2023

8月5日(土)、毎年恒例の開催となった氏郷まつり「夏の陣」2023が盛大に行われました。私たち議員もお揃いの浴衣で江州音頭に参加、夕暮れになっても厳しい暑さが残っていましたが、町民の皆さまと一つの輪になって踊りを楽しみました。



予算特別委員会

付託議案

●議第79号 令和5年度日野町一般会計補正予算(第3号)

今回の補正予算は、新型コロナウイルスワクチン等の補助事業の精算に伴う償還金、行政懇談会等における住民要望の高い道路などの生活基盤にかかる維持補修等の経費、また幼保・小・中学校等の公共施設の維持補修の経費など、必要性の高い事業に対して予算措置が講じられました。

《歳出の主な内容》

事業名	経費の内容	補正予算額
保健衛生事務事業(保健)	新型コロナウイルスワクチン接種事業補助金精算に伴う償還金	1億765万2千円
道路維持補修事業	道路の維持補修に必要な経費の増額補正	2,439万円
交通安全施設対策事業	交通安全確保に必要な区画線、カーブミラー等の設置	1,350万円
学校給食運営事業	学校給食に必要な設備の劣化・破損に伴う修繕費	438万2千円
観光協会運営事業	鎌掛しゃくなげ溪の観光に伴う遊歩道および橋梁修繕に係る補助金	450万円

質疑と討論・採決

委員からは、行政懇談会からの要望にとらわれず必要性の高い事業に対して予算措置を講じるよう意見が出された。また、鎌掛しゃくなげ溪の遊歩道と橋梁の修繕について委員より質問があり、これに対し別の委員より、商工会壮青年部がみんなで取り組めば費用が抑えられるとの提案から話は落ち着いていると発言があり、当局からは町としてありがたい話だと思っているとの答弁がなされた。これに対し議長より、専門業者と同質の仕事がしてもらえるようにと要望が出された。全体を通し討論はなく質疑もなく、引き続き採決を行ったところ、全員が原案どおり可決することに賛成となりました。



総務常任委員会

付託議案

●議第76号 日野町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

民間端末機を介した印鑑登録証明書の交付

Q 証明書の交付について、実績と最近の傾向はどうか。コンビニ交付での問題やトラブルはあったか？

A 証明書を発行した数は年々増えている。取得できる時間が6時30分～23時までと長いことが住民サービス向上の点から社会的ニーズに対応できていると考えます。トラブルに至った例はない。

●議第77号 日野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

感染症予防等に従事する職員の特殊勤務手当の特例。新型コロナウイルス感染症から、町民の生命および健康を保護するために行われた措置に係わる作業による特殊勤務手当が廃止されるもの。

付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致で全議案を可決すべきものと決しました。



請願審査

●請願第2号 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願書

請願の採決

請願趣旨に賛成であるものの理解を深める必要があり、勉強会と審議に時間を要するため継続審査とした。

継続審査に対して 反対討論 原案が採択されることを求める。

賛成討論 意見書決議を本会議に提出するのが本意ではあるが、時間がないため、継続審査を求める。

調査・研究

持続可能な日野町消防団について、意見交換

産業建設常任委員会

付託議案

●議第78号 日野町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

- Q 大谷プールの廃止で、水泳を通しての町民の健康管理ができなくなるが対策は？跡地利用は？
A プール以外の施策、ウォーキングやラジオ体操などでスポーツの裾野を広げることから始めたい。当面は砂利で国スポの駐車場として活用。その後は決めていない。スケートボード場との声も聞くが、管理上難しい。芝生広場という声も聞くし、当面アスファルト舗装はしない。

付託議案の採決

反対討論はなく採決 → 全委員一致で可決すべきものと決しました。



調査・研究

●いせの調整池をめぐる問題の経過と課題

同和対策事業の住宅譲渡金（特定財源）を町営住宅建設整備基金として「保留地」の購入に充てたこと、住宅事情の変化で町営住宅を建設しないとなった時に対応していないこと、雨水排水路整備が進まず調整池が「保留地」として残存していることをどう考えるか、などの意見に対して、それぞれの時点では県などと協議し、議決もしており問題はないと考えるが、現在の状況については好ましいものではないので、国・県などとも協議し、必要に応じて指導も仰ぎたい、とのことであった。

●交通安全施設の整備について～県予算要望事項とかかわって～

●名神名阪連絡道路の整備促進について

杉浦議長より、甲賀市の議員連盟より要望があったことの報告。町の発展にかかる重要な案件であり、委員会だけでなく、全議員で協議すべきだとの意見があった。

厚生常任委員会

付託議案

●議第80号 令和5年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

●議第81号 令和5年度日野町介護保険特別会計補正予算(第1号)

- Q 介護人材の不足状況は？
A 募集しても応募がないと聞いている。人材確保へ向け、専門人材育成として初任者研修の補助率をこれまでの1/2から3/4に上げ、一般向けには介護に関する入門的研修を実施した。

付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致で可決すべきものと決しました。



請願審査

●請願第3号 加齢性難聴者への補聴器購入に公費助成制度の創設を求める請願書

主な論点：加齢性難聴者が補聴器を購入する際、一般財源による公費補助の是非

- 反対討論 対象を加齢性難聴者と限定せず広く議論すべき
賛成討論 まずは高齢者の補聴器補助から拡充していきたい

請願の採決

賛成少数で不採択すべきものと決しました。

空家対策特別委員会

調査研究

空家発生の予防

- 各区長への空家調査は前回令和元年度に行っており、次回は令和6年度を予定している
- 空き家バンクの登録件数が少ないのが現状。気軽に連絡してもらえる周知方法を検討する
- 売却できない物件については登録が難しく、全国的な課題となっている
- 日野地区で予定している出前講座の参加希望者からの情報を、建設計画課と企画振興課で共有していく
- 所有者不明空家は相続関係が複雑で把握しにくい。独居の方に空家になる前に相談してもらうことが大切

空家の活用・流通の促進

- 東近江市、米原市では民間の団体等と連携して空家の利活用を推進している
- 県からも空家利活用に向けた支援策や補助金が用意されている
- 建設計画課では空家所有者、入居希望者の双方が気軽に相談できる窓口を目指している
- 移住者交流会を開催し、子育て家庭を中心に、移住者のアフターフォローに努めている

空家の適正管理・跡地の利活用など

- 地域経済活性化対策住宅リフォーム助成制度では上限20万円で商業協同組合商品券を補助しているが、これが移住のきっかけにはなっていない。さらに検討の余地がある
- 平成26年、27年に実施した空家見学ツアーは、定住につながらず継続できていない。また移住後に転出された方は、何が要因であったのか把握できていない。今後は定住促進のためにも調査分析していきたい

※用語としては「空家」と表記していますが、空き家バンクは固有名詞として「空き家」を使用しています。

議会改革特別委員会

～「前進する議会」～

調査研究

通年議会

現在は年4回の定例会

→ 迅速な対応のできる通年議会にできないか

■事例（天津市議会・滋賀県議会）

- 定例会は年1回とし会期を1年間（通年）
- 町長の専決処分を必要最低限に抑制できる
- 災害などの突発的な事案や緊急の行政課題にも迅速な対応が可能になる

議員報酬

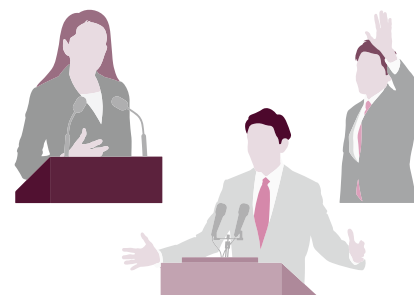
地方議員の報酬額算定の根拠は何もない

→ 若者が生活できる報酬にできないか

■事例（長野県生坂村）16万→30万円

4回連続無投票だった議会は令和2年条例改正。当選時に55歳以下の場合のみ報酬を30万円に増額。令和3年には20年ぶりの選挙が行われ55歳以下は全員当選した。

議員の “なり手不足”が深刻！



＝ 若者や女性の政治参画を進めるために ＝

近年の日野町議会議員選挙では、3期連続で子育て世代の若い方がトップ当選を果たされています。

今期の子育て世代の議員は3名となり、全国的な地方議員の「なり手不足」問題の中、日野町では若者の政治参加は素晴らしいことです。一方、選挙における欠員は1名となり、全国的な流れとともに重要な問題となっています。日野町議会では、議会改革特別委員会を引き続き設置し、「議員のなり手不足問題」等の議論を進めています。

特に今期においては、通年議会、議員報酬、議会の在り方などについて、先進地視察や具体的な議論をはじめています。子育て世代の若者や女性の政治参画を進めるためにも、安心して政治参加ができる環境づくりが喫緊の課題となっています。

議員の“なり手不足”解消に向けて

〈町村議会と市議会の比較〉

※資料 総務省HP・全国町村議長会HPより

	町村議会平均 ()は日野町	市議会平均	考 察
①投票率 (R5.4.23執行)	55.49% (55.90%)	44.26%	①町村議会選挙への住民の関心は高い ②町村議会選挙への立候補者は少ない ③町村議会議員は若い人が少ない ④町村議会の報酬は市議会の約半分
②無投票の割合 (R5.4.23執行)	32.98% (H23無投票)	4.76%	
③平均年齢 (R4)	65.2歳 (61.3歳(R5.5.1現在))	60.0歳	
④平均報酬月額 (R4)	21.7万円 (23万円)	42.3万円	

日野町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

制定の趣旨・背景

地方自治法の改正は、議員のなり手不足の対応が喫緊の課題であることを踏まえ、地方自治法の一部改正（令和4年12月16日公布、令和5年3月1日施行）が行われ、議員に係る請負が明確化され、併せて議員個人による請負に関する規制が緩和されました。これまで規制されていた議員個人の請負は、各会計年度において支払いを受ける請負の対価が総額が300万円を超えない者は規制の対象外とされました。

当議会の対応

議員のなり手不足を踏まえて、今回の地方自治法が改正されたことに伴い、日野町議会としても条例を整備し、町議会議員の町に対する請負の状況を公表すること等により、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正および事務執行の適正を図るため、9月定例会最終日の9月27日に議員提案し、可決決定しました。

令和5年9月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 高橋 源三郎	1 太陽光発電用地の地目認定と課税について 2 地籍調査結果による面積変更や課税変更について	P. 9
2 川東 昭男	1 公共施設の改修および長寿命化計画と財政運営について	P.10
3 西澤 正治	1 農業用燃料高騰対策について 2 道路計画の構想について	P.19
4 福永 晃仁	1 幼児教育・保育のこれからについて 2 豊かな文化を次代に繋げるために	P.11
5 山本 秀喜	① 「子育てにやさしい町、こどもまんなかの日野町」に ② 農業のこれから、地域計画（農地の集約）の策定は？ 3 民間による鳥居平・松尾工業団地の整備計画について	P.12
6 中西 佳子	1 交通安全対策（自転車）について 2 「道の駅」「防災道の駅」について町の見解は	P.13
7 加藤 和幸	1 地震・水害を中心とした防災対策について ② 子ども医療費助成（福祉医療給付費）の拡充を ③ 健康保険証の廃止をめぐる動きについて	P.14
8 柚木 記久雄	1 病児保育の実施について 2 名神名阪連絡道路と地域の課題	P.15
9 松田 洋子	1 給食費の無償化について 2 奨学金返還制度について	P.16
10 野矢 貴之	1 西大路宅地整備事業はもっと工夫できたのでは？ 2 こども基本法はなぜ制定された？	P.17
11 後藤 勇樹	① 農村型地域運営組織（農村RMO）への伴走支援を問う ② 文化財保存活用地域計画策定作業の進捗と今後の取組みは 3 いせの調整池および町営住宅建設整備基金について	P.18

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



問 太陽光発電用地の地目認定と課税について



答 太陽光発電用地の地目は雑種地で評価



高橋 源三郎 議員

問 近年、日野町でもあちこちの平地や丘陵地、山林などに太陽光発電パネルがたくさん並んでいるのを見ます。これを見ていると、日野町内だけでも一体どれくらい太陽光発電パネルが設置されているのかと、強く関心を持つようになりました。

そこでこのことに関し何点が質問します。
① 町は太陽光発電パネルの設置に関し町内に何箇所くらいあり、それに対する土地の面積はどれくらいあるのか把握されているか。
② 把握されている場合、その土地に対する地目認定はどうされているのか。
③ 太陽光発電機器の設置は償却資産の課税対象になると思うが、申告状況はどうか。また、耐用年数は何年か。
④ 一般家庭や会社等の建物の屋根に、太陽光パネルが設置されているのを見掛けるが、これらは償



▲国道307号沿いにある太陽光発電(500KW)

却資産の申告の対象となっているのか。また、発電した電気を売電している場合、得られた所得は課税の対象となるのか。

答 ①日野町太陽光発電設備設置に関する指導要綱では、発電の最大出力が10KW以上のものは届出が必要です。これにより把握しているものとして117箇所、件数として202件、土地の面積は26万9千435㎡となっている。
②太陽光発電を宅地以外で単独で設置している場合、その土地の地目は雑種地として評価している。
③機械及び装置としての申告がほとんどであるが、構築物または工具・器具・備品として申告される例もある。なお、法定耐用年数は17年である。
④事業用もしくは売電事業用の場合は償却資産としての申告が必要。10KW未満で家庭での利用の場合は申告は不要。

今後、大字単位で順次進められていくと思いますが、事業主体は日野町です。何点かお尋ねします。
①日野町において地籍調査の実施計画書は策定されているか。

答 ①町内の集落全体を対象とした実施計画書は策定していませんが、調査実施地区については年度ごとに作成している。
②希望される自治会からは、要望書を提出していただいている。
③調査の対象地目は、宅地・畑・山林など、調査範囲内の全ての地目が対象となる。
④登記情報の変更に基づき、1月1日を基準に課税の変更を行っている。また、土地の形状が大きく変われば個別案件として再評価を行っている。

問 地籍調査結果による面積変更や課税変更について

答 登記情報により、面積等の変更があれば課税変更となる

問 日野町内でも集落単位で「地籍調査」が行われていますが、この地籍調査は土地の「所有者・地番・地目・境界・面積」などを調べ、その結果を台帳と地図にまとめることとされています。

今後、大字単位で順次進められていくと思いますが、事業主体は日野町です。何点かお尋ねします。

①日野町において地籍調査の実施計画書は策定されているか。

②地籍調査を希望する場合の手続きはどのように定められているか。

③この調査は圃場整備田の場合、圃場整備台帳などに地積と測量図面が掲載されているので調査の対象から除かれると思うが、それ以外の地目については、どの地目を調査の対象としているのか。

④昔は土地の面積を求めのりに縄を張って長さを測り、面積を計算されたことと聞きました。その場合、ほとんどの土地において今日の最新技術で測量されたもの比べると面積に相違が生じると思えます。また、多くの宅地はいびつな形をしていて、しかもそこに建物が建っている場合、昔は正確な測量は出来なかったと推測します。よって、ほとんどの土地において面積修正が必要と考えます。地籍

答 ①町内の集落全体を対象とした実施計画書は策定していませんが、調査実施地区については年度ごとに作成している。
②希望される自治会からは、要望書を提出していただいている。
③調査の対象地目は、宅地・畑・山林など、調査範囲内の全ての地目が対象となる。
④登記情報の変更に基づき、1月1日を基準に課税の変更を行っている。また、土地の形状が大きく変われば個別案件として再評価を行っている。

問 公共施設の改修および長寿命化計画と財政運営について

答 必佐小学校の改修は必要！適切な財政運営めざす！



川東 昭男 議員

問

町の公共施設の老朽化が進行しています。現在の公共施設の整備は、昭和後期から平成初期に集中しており、

今後、その更新時期が集中し、財政の悪化を招くことから大変心配される場所です。

一方、老朽化が進む公共施設は、放置することはできないので、改修は「待ったなし」にやっています。

そこで、公共施設の改修および長寿命化計画と財政運営について伺います。

1. 必佐小学校の大規模改修・建替えについて

① 令和2年3月に策定された「学校施設の長寿命化計画」において、必佐小学校は、劣化状況評価はC（広範囲に劣化）の項目が多く、平成12・13年度に耐震化を中心とした大規模改修がされていますが、既に20数年を経過しています。改修に対する町の考え方を伺います。

② 必佐小学校については、建替えが必要だと思いますが、多額の財政負担が心配される場所です。

今後の公共施設の長寿命化対策において、施設の維持・機能を最大限伸ばすことで、財政負担を軽減していくことが大きな課題になってくると思えますが、これらの施設整備に伴う財政負担について、現時点での考えを伺います。



2. 長寿命化計画については、日野町公共施設等総合管理計画ほか関連する個別計画は、構築物をはじめ道路や上下水道などのインフラ資産を合わせると20を数えます。公共施設の長寿命化対策と財政運営の方向性について

伺います。

① 各計画における改修年度の順位付け、基準などについて伺います。また、現在個別計画のない施設についてはどのようにお考えか伺います。

② 災害発生時の指定避難所および指定緊急避難場所に指定されている学校・公民館・公園施設などの公共構築物の現状と今後の改修計画についての方針を伺います。

③ 上水道・下水道施設各種道路、各種橋梁などのインフラ資産について、今後の改修計画についての方針を伺います。

3. 当町における将来の人口減少、少子化・超高齢化の中で、将来を見据えた「町の規模」や「財政状況」を考えると非常に厳しい財政運営を強いられることが予想されます。そうした中、現状の施設数をそのまま改修・更新を続けることは、かなり難しいと想定されます。いわゆる「数」について、

施設の「統合」や「廃止」などの議論が必要な時期にきていると思いますが、現状における町の考えを伺います。

答

1. ① 必佐小学校の老朽化の現状は、

教育委員会として把握しており早期に改修等が必要と認識している。学校施設の老朽化は先送りできない課題であることから、教育委員会での議論を深め早期に方向性を決める。

② 大規模改修や改築については、その都度国の補助金や地方債の活用を検討し、負担軽減や平準化を図る必要がある。

2. ① 長期的視点に立ち、各施設の状態など総合的に判断している。役場庁舎は令和3年に計画を策定、林業センターと勤労福祉会館は、建設から50年が過ぎており、随時、修繕を重ね維持する。② 現状において、避難所としての役割は果たせる。

今後の改修計画は、個々の施設ごとに判断していく。

③ インフラ資産については、各施設毎の計画に基づき、国庫補助金等を活用しながら、順次長寿命化改修を進めている。

3. 施設の統合、廃止について、令和4年度の日野町の出生数は104人（令和元年度は143人）となっている。今後の人口減少の中で、施設を維持するための職員配置の問題や財政負担を将来に残さない観点から避けられない課題であり、十分な議論が必要と考える。

◆質問を終えて

必佐小学校の改修は、喫緊の課題であり、教育長は、早急な改修が必要と答弁。年度内に方針を決めるとの判断に期待したい。

公共施設の改修・更新は、町の大きな課題。「予防保全」の適正管理を、そして財政運営の平準化をお願いしたい。

問 幼児教育・保育のこれからについて

答 保育ニーズ・地域の実情を踏まえ、迅速に対応を進めます



福永 晃仁 議員

問 幼児期における保育教育は、人格形成の基礎を培う極めて重要な要素であり、社会の在り方をつくる公教育の土台として位置づけられています。現在、幼児教育保育の在り方検討懇話会での先進地視察や地域ワークショップの積み重ねを踏まえた中間報告等、建設的な議論がされていると認識しています。しかし、就労形態や育児休業等の在り方による低年齢児保育ニーズの高まりや地域間格差の是正、過疎地と都市部での保育事情の違い、住民への情報共有や問題解決に向けての具体的施策立案など、多くの課題がある中で、

- ① 当町が目指す「子育てしやすいまち」の定義・理想像とは。
- ② 当町の幼児教育・保育施設の現状と課題は。
- ③ 現状を踏まえた幼児教育保育環境の整備計画と中期的なビジョン。

答 幼児教育保育の本質は「主体となつて生きていく力」を育て、周囲の大人が見守り支えることにあります。そのうえで

- ① 子育て期に必要な行政支援施策が充実したまち。安心して幸せな暮らしが描け、人とのつながりを感じながら、子どもの健全な成長を見守れるまちだと考えます。
- ② 施設の老朽化を踏まえての中長期ビジョン。保育ニーズの高まりとともに幼稚園入園者の減少、保育士不足も大きな問題と捉えています。
- ③ 国・県・町の連携を強め、現状の保育ニーズへの対応とともに幼児教育保育の在り方検討懇話会での答申結果をもとに、早期に方向性を示していく必要があると考えます。



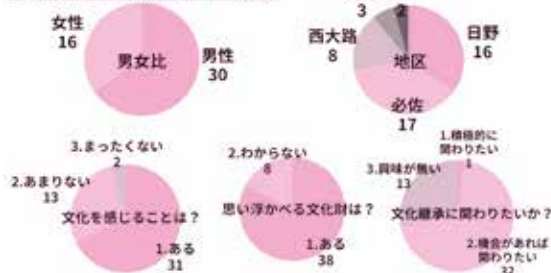
問 豊かな文化を次代に繋げるために

答 若者・子育て世代への新たなアプローチに取り組みます

問 次代のまちづくりと歴史が共鳴している町。有形無形の文化、本町の美しい文化財や歴史的景観をこれまでに以上に日野町のストロングポイントとして認識し、可視化を行い、内外に向け強く発信をしていくことが重要と考えます。町内二〇代〜四〇代の方々に「まちの文化」に関するアンケートを実施。多くのご意見を頂いた中で

- ① まちづくりにおける文化継承の大切さをどのように捉えているか。
- ② 各課や関係機関、他分野等が連携した取り組みの状況は。
- ③ 若者・子育て世代の「文化を通じたまちづくり」への関心度や現状への捉え方。また新たな視点からのアプローチは。

まちの文化に関するアンケート概要



答 ① 町固有の祭りや行事。衣食住などの暮らしや歴史的な建物、地域に根差した芸術活動などは、先人が豊かな自然と長い歴史の中で育んできた貴重な「まちのたから」であり「日野を日野たらしめている」と捉えています。

② 観光振興、町並み保全や空家の活用。食文化やふるさと学習。防災・防犯や資料のデジタルアーカイブなど、各課の繋がりを意識し、図書館、学術機関や観光協会等とも連携を図り進めます。

③ 若い世代の人口減少や仕事・子育てによる多忙さの影響により、祭礼行事や文化財事業への参加が減ってきていると感じています。アンケート内容から文化を通じたまちづくりへの関心に希望を感じ、新たな視点からのアプローチを進めます。

(全体的なまとめ)

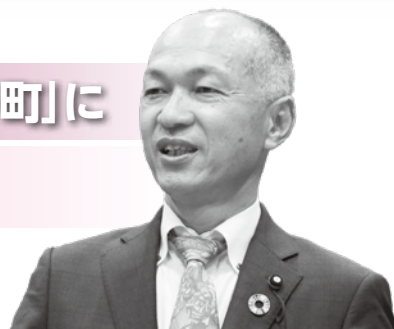
- ① 生活で感じる文化とは
 - ・日野の街並み、御代参街道、商店街、種教室、講義り紀行、日野祭、合唱、日野祭、火祭り、手くらべ祭、集落の祭、湯生氏祇園、中学生の挨拶、小学校やPTA、保育園、遊び、歌、教育、衣食住、自然環境、寄合・・・
- ② 文化財と聞いて思い浮かべるもの
 - ・緋向神社、信楽院、正明寺、日野松、種教室、日野祭、豊山、山倉、神興、音羽城址、中野城址、ホイノボリ、商人屋敷の街並み、火祭り祭、手くらべ祭、集落の祭、公民館、鎌指小学校、近江日野商人館、ふるさと館、三徳屋などの古いお店・・・
- ★文化継承への意見やアイデア内の注目点
 - ・子どもは学校で学んでいるが保護者はあまり意識していないという認識
 - ・現在の生活で新しくやると負担と考えてしまうので日常の中で関わらうと思うと、半数近くは良い習慣と捉えてしまう。本当に大事にしたいと思える風土づくりが大事
 - ・子どもが体験できるようなものがあれば保護者も関わりやすい→種教室をのぞいての写真撮影会、日野松への付け、餅つきめんつくり体験、夜更けのような場と地域の夏祭りの融合、子ども行きやすい特産品やご当地グルメと歴史を絡めたもの、eスポーツやゲーム(ポケモンGOのような)などコロナでできれば幅広い年齢層に関われる、名所を巡る親子ウォークラリー、名物食べ歩き、秋の文化祭の規模や内容の再構築、有名人を使った若者に刺さるPR方法の活用、合唱と歴史文化のコラボ企画、公民館の多世代交流推進・・・

問「子育てにやさしい町、こどもまんなかの日野町」に

答 日野町幼児教育在り方検討懇話会、答申後
スピード感を持って、今後の方針示していく



山本 秀喜 議員



問

町の宝である子どもたち、今や国や県においても「こどもまんなか社会」の実現に向け、少子化対策に一石を投じる動きです。

日野町においても、子育て支援施策が当初予算から組み込まれてはいるものの、実際の取り組みが「こどもまんなか」になっているとは思ってこなく、町の情報発信力も弱く、弱くも思っています。

保育所の待機児童解消や幼稚園の入園者数の減少、施設の老朽化対策、慢性的な保育士不足など解決への道のりは道半ば、子育てにやさしい町にはほど遠いと思っています。

昨年「日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会」が開催され、今年からは先進地視察にも取り組まれていきます。懇話会の状況、施設の再編などを伺い、日野町の出産、子育てを応援する「日野町、子育て応援宣言」を提唱することを求めました。



懇話会での先進地視察
新潟県出雲崎町

答

懇話会では、最終答申を令和5年度中に行うため、先進地視察の好事例から学び、日野ならではの事情に合った幼児教育保育環境の提起をし、再度住民の方からご意見を徴収し提言してまいります。

各幼児教育施設は、園児数が不足し、保育園においては保育士数が不足した状態での園運営から改善を考えると、保護者や保育士の声を踏まえ、適正な集団規模が確保できるよう、再編していくことが必要だと感じています。

町長からは「スピード感を持って方針を示していく」「宣言のこともしっかりと情報発信していく」と述べられました。

問

農業のこれから、地域計画(農地の集約)の策定は？

問

地域の農業を誰が引き受けるのか。少子高齢化の波が、町の農業の存続にも深刻な影響を及ぼしています。

町が抱えている農地は、面積が小さい中山間地での農地が多く、手間と労力を要しています。それでも先祖から引き継いだ農地を守ろうと、集落営農組織などで、必死で頑張ってもらっています。

国は、今年4月に施行した「改正農業経営基盤強化促進法」に基づき、令和7年3月までに「地域計画」の作成を求めています。この「地域計画」は、農地1筆ごとに10年後の「担い手」をどうしていくのか、地域で話し合っ「農地地図」に目標を落とし込み、農地の集約を進めるものです。

これまでの「人・農地プ

ラン」に目標地図が追加されるものですが、元々「人・農地プラン」を策定していない集落や、小規模な集落営農組織も多数存在します。町はこの「地域計画」をどのようにして進めようとしているのか、進めるには職員の増強も必要ではないかと同じました。

町では、昨年度から会議や農業組合長会議での周知、複数集落での説明会を開催し、推進に向けての取り組みを進めてきました。今年度は、町と関係機関による「日野町地域計画検討会」を設置し、策定に向けた協議を行っているところです。町内には約60の農業組合があり、人・農地プランが策定されていない約40の農業組合では初めての取り組みになり、まずは丁寧な説明に努めていきます。

地域計画の策定については、地権者や地域住民の意向調査が重要になり、話し合いやアンケートで出した意見を尊重し進めていきます。推進体制は、10月から会計年度任用職員1名を雇用する予定です。

人・農地の未来を考える
「地域計画」を作成しましょう！
～人・農地プランが「地域計画」に変わります～

①「地域計画」ってなに？
・地域での話し合いにより目指すべき将来の農業のあり方と農地利用の姿を明確にする計画です。
・従来の人・農地プランに目標地図が追加されるイメージです。
地域計画 = 地域農業の将来のあり方 + 目標地図
・令和7年3月末までに市街化区域を除くすべての地域で作成する必要があります。

②「目標地図」ってなに？
・農地一筆ごとに、今後利用する農業者を示した地図です。
・農地の貸借の仕様がわかり、目標地図に基づいて農地の設置を計画することとなります。

③なぜ地域計画を作成するのですか？
・農業者の減少が進む中で、農地を後世に残し、農業を効率的に営んでいくためには、今のうちから将来の農地利用について話し合い、目指す姿を具体化することが重要です。
・この機会に、地域の農業の未来について話し合しましょう！



交通安全対策(自転車)について

答 交通ルールやマナー向上の啓発に努める



中西 佳子 議員



問 歩行者も車の運転者も自転車等の利用者も、交通事故のない安全安心生活は皆の願いです。

近年、全国では自転車

が加害事故となる事故で、高額な損害賠償などの事例が発生しており、滋賀県でも自転車損害賠償保険等への加入が義務化となりました。また本年4月から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となりました。県内における自転車事故は前年に比べて増加しています。自転車の利用者が安全に利用できるように行政としても啓発や購入補助に取り組んでいただきたい。何点が伺う。

①町の自転車による事故の状況は。

②自転車の交通ルール、マナーなどの啓発状況は。

③全ての自転車利用者のヘルメット着用努力義務化に対応して、大切な体を守るため、町としてヘルメットの購入補助はで

きないか。

答

①令和4年度中に日野町で発生した自転車事故は4件です。

②自転車の交通ルール、マナー等の啓発状況は、交通安全運動期間中や、通学時の交通安全街頭啓発を行っている。また、小・中学校、幼稚園、保育園等において、交通安全教室を開催し、自転車の安全な乗り方等について指導いただいている。

③町では、ヘルメットの購入補助の予定はしていません。あらゆる機会を捉え、自転車利用時のヘルメット着用の重要性、交通ルール、マナー向上について東近江警察署と連携して啓発に努めて参りたい。



問 「道の駅」「防災道の駅」について町の見解は

答 「道の駅」の計画はないが、引続き研究したい

問

近年は地球温暖化が進んでおり、豪雨や台風などの気象現象が多く発生しています。日頃の備えや訓練とともに、防災対策も進めていくべきだと考えます。災害時に地域の防災拠点となる「防災道の駅」も2021年度に全国で39か所が選定されています。また、「道の駅」は周辺の観光施設などと連携させて、観光資源としても注目されています。一部事例において、博物館と併設しているところもありま

す。わが町の特徴を活かした「道の駅」を推進していただきたいと思います町の見解を伺う。

④わが町での「道の駅」への具体的な取り組みへのお考えは。

答

①「防災道の駅」については応援物資の提供や被災者救助等、迅速な対応が可能になることから、町にも一定メリットがあり、地域住民のさらなる防災対策につながるかと考える。しかし、選定される為には、都道府県が策定する防災計画に位置付けられることや、広域的な防災の観点からの視点が必要。

②近年の道の駅の利用は単なる休憩というよりは、レストランでの飲食や農産物直売所、売店での土産品の購入を目的としておられる方が多い。またその地域の名所や文化施設、観光情報を得る手段の方も多い。地域振興や観光資源の観点から

③全国には地域の特徴を生かした様々な「道の駅」があり、文化的な施設等との併設もその一つである。

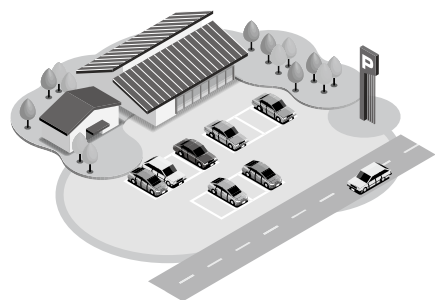
④どのように地域振興に繋げていくかが課題になっており、当町においては、現時点で具体的な「道の駅」の計画はないが、地域活性化の拠点となるような「道の駅」について、引続き研究していきたい。

①「防災道の駅」について町の見解は。

②観光資源としての「道の駅」について見解は。

③文化的な施設等との併設について見解は。

②近年の道の駅の利用は単なる休憩というよりは、レストランでの飲食や農産物直売所、売店での土産品の購入を目的としておられる方が多い。またその地域の名所や文化施設、観光情報を得る手段の方も多い。地域振興や観光資源の観点から



次ページは▼

一般質問

問 健康保険証の廃止をめぐる動きについて

答 現時点では廃止撤回を求めることは考えていない



加藤 和幸 議員



【問】マイナンバーカードをめぐるトラブルが続発しています。政府は来年秋に現行の健康保険証を廃止する方針です。そのことについて、共同通信が7月、全国の市区町村長1,741人にアンケート調査をし、79%の回答があり、その結果が8月2日付『京都新聞』に掲載されました。県内では19市町中11市町の首長が回答し、日野町など3市5町は「未回答」と報じています。(当該記事利用許可済み)

(1) 「未回答」になった理由、経緯を伺う。

(2) 全国では、予定通り廃止すべきが29%、「廃止時期の延期または撤回」が合わせて43%と報

【問】マイナンバーカードをめぐるトラブルが続発しています。政府は来年秋に現行の健康保険証を廃止する方針です。そのことについて、共同通信が7月、全国の市区町村長1,741人にアンケート調査をし、79%の回答があり、その結果が8月2日付『京都新聞』に掲載されました。県内では19市町中11市町の首長が回答し、日野町など3市5町は「未回答」と報じています。(当該記事利用許可済み)

「健康保険証をなくさないで！」



(3) 一般的な問い合わせはあるが、トラブルはない。

(2) マイナンバーカードと健康保険証の一体化については、国民の不安を払拭することが大切と考えている。現時点では、撤回を求めることは考えていない。

【答】(1) 緊急に実施されたもので期限内に回答できず「未回答」となった。

(2) マイナンバーカードと健康保険証の一体化については、国民の不安を払拭することが大切と考えている。現時点では、撤回を求めることは考えていない。

【答】(1) 緊急に実施されたもので期限内に回答できず「未回答」となった。

【問】マイナンバーカードをめぐるトラブルが続発しています。政府は来年秋に現行の健康保険証を廃止する方針です。そのことについて、共同通信が7月、全国の市区町村長1,741人にアンケート調査をし、79%の回答があり、その結果が8月2日付『京都新聞』に掲載されました。県内では19市町中11市町の首長が回答し、日野町など3市5町は「未回答」と報じています。(当該記事利用許可済み)

子ども・障がい者医療費助成(福祉医療給付費のうち)

障がい児者				母子父子家庭		子ども医療費							
中軽度		重度		町独自		個人		個人		18~20歳 高校生世代	中学生	小学生	就学前
精神	療育手帳 2・3級	身体 3~6級	精神 1級	療育 A1A2	身体 1・2級	入院	通院	入院	通院				
町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成	町が独自に助成
県※3	県※2	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1	県※1

注. 1. 県の助成は基本的に町と1/2ずつ。
 2. 令和5年度より日野町は高校生世代の入院費を全額助成。
 3. 母子父子家庭の18~20歳町独自助成は学生などのみ。
 4. 県※1は、県10/10。通院費500円/1診療、入院1000円/日は自己負担。
 5. ※2. 精神障害者保健福祉手帳1級所持者のみ。自己負担あり。
 6. ※3. は、身体3級・療育B・精神2級のうちの二種類以上所持者。自己負担あり。
 7. この表は、『滋賀民報』7月30日号などをもとに加藤が作成。

問 子ども医療費助成(福祉医療給付費)の拡充を

【答】市町の違いがある中で一律の助成を要望していく

【問】三日月知事は7月の県首長会議で、子ども医療費助成に高校生世代を加える方針を示しました。共産党は18歳までの医療費の完全無料化を要望し町議団でも首長会議に先立ち、町長に「子どもの医療費助成に関する緊急申し入れ」を行いました。

(1) 県案を町長はどう評価しているか。

【答】(1) 一定前進だが、市町ごとの違いがある中で十分な協議が必要。

(2) 現在の町の医療費助成に自己負担がないことを踏まえつつ、検討する。

(3) 県事業対象の重度心身障がい児(者)は151人、町単独事業対象者は208人。全国一律の助成実施を要望していく。

問 病児保育の実施について

答 令和6年度からの実施は困難な状況



柚木 記久雄 議員



問 病児保育とは保
護者が就労してい
る場合において、児童が
病気がかり自宅での保
育が困難な場合、一時的
にその児童を保育するこ
とで、安心して子育てが
できる環境を整備し児童
福祉の向上をはかる目的
として行われる保育です。
私の調べたところ県内の
全ての市で行われている
ようであるが、豊郷町、甲
良町、多賀町は彦根市と
広域連携して実施してい
ます。実施していないの
は、日野町と竜王町です。

以前は同居の祖父母に
頼ることもできましたが、
そのようなお家も少なく
なりました。女性の社会
進出も広がっています。
出産後も同じ会社で正社
員のまま働き続けるお母
さんも多くおられます。
またシングルマザー
として子育てに奮闘され
ている保護者の方もおら
れます。女性だから会社
を休みやすいということ
もありません。また祖父

母においても年金支給開
始が65歳となり介護保険
料の負担も高く定年延長
の流れと相まって、65歳
越えても働き続けておら
れる方が多くおられます。
つきましてはニーズの
高いこの事業は子育て世
代に絶対必要な事業です。
令和2年3月に子育て
支援事業計画が策定され
そこに令和6年にスター
トするよう書かれていま
すが伺います。

①この事業計画は実施に
向けて準備が進んでいる
のですか。
②どのような規模や方法
で実施するのですか。

答

①計画策定前にも
検討したが専用ス
ペースや看護師の確保が
厳しく実施困難な状況で
す。広域連携も実質的に
厳しく困難な状況です。
②子育て環境も大きく変
わっており近隣市町で利
用できる施設の紹介を行
うほか効率的で利用しや
すい方策を検討します。

問 名神名阪連絡道路と地域の課題

答 ルート帯の情報収集に努め県の動向に注視する

問

日野町のホーム
ページにおいて7
月12日、この道路の概要
と活動報告が2022年
5月2日発表のものを更
新する形で発信されてい
ます。連絡道路計画の実
施主体は日野町ではあり
ませんが、そのルート帯
は近隣各市町や県のホー
ムページで微妙な違いが
あるものの、概ね名神八
日市インターより国道
307号の西側から日野
町南部を通過するように
描かれています。

県による進捗状況では、
第1回住民アンケートが
終わり、意見整理をして
いるとのこと。今後はも
う少し狭いルート帯の検
討が行われるようです。
一方、わが地区では、大
型車両の通行により特に
子供たちの通学時の交通
事故への不安があり、朝
夕の交通渋滞もひどい状
況で、県道日野徳原線で
は横断歩道でも安心して
渡れない状況です。
この道路計画が地域の
課題を解決し、「多大な好
況」をもたらせばいいの
ですが、町が地域住民の
声を吸い上げ県との仲立
ちを積極的に行わないと、
地域の地理的分断、住民
同士の心の分断、騒音の
心配、さらなる交通の渋
滞を起こすことも考えら
れます。

①今後、県と町の調整が
始まると思いますが関係
区長会等との地域の意見
聴取、また地域住民の意
見を反映する手立てを役
場が率先して行ってほし
いなどのように進められ
ますか。

②既存の道路計画の県道
土山蒲生近江八幡線拡幅
計画は、既に用地測量業
務の説明会が始まってい
るように聞いています。

答

①国と県との協議
が整えば県が住民
説明会を予定されており
関係集落の皆さんの意見
が反映されるよう町から
要望していくが現状具体
的なものは無く、情報収
集に努め動向を注視して
いきます。
②③県道土山蒲生近江八
幡線、日野東部農道とも
に国道307号の東のバ
イパスとして当初の位置
付けどおり進めていきま
す。

次ページは▼

一般質問



問 給食費の無償化について

答 町に大きな財政負担を伴い、慎重に判断していく必要がある



松田 洋子 議員

問 ①日野町として、給食費の無償化についての考えをお聞かせください。

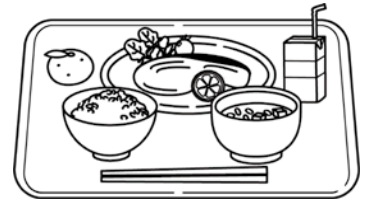
②今年度日野町で小・中学校へ通う子供さんの共通教材費はいくらからお聞かせください。

③新たに考えておられる就学支援制度の有無についてお聞かせください。

答

①給食費の無償化につきましては、

滋賀県内におきましても、給食費の無償化を実施している自治体があることは認識しています。給食費を無償化した場合には、町に大きな負担を伴い、経常経費となることから、慎重に判断していく必要があると考えます。日野町の学校給食は、直営による自校方式で実施しているということが大きな特徴で地産地消を進めるとともに、安心安全でおいしい給食の提供ができるというメリットもあります。



②小・中学校へ通う保護者が負担する教材費につきましては、小学校については、小学校については学校、学年により異なっていますが、概ね毎月1,000円から2,000円程度のご負担となっております。中学校については、全学年一律に11,000円のご負担となっております。

③新たな就学支援制度につきましては、現在は経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して国が示す単価を参考に必要な支援を行っておりますが、新たに制度を導入することについては、慎重な判断が必要であると認識しています。

問 奨学金返還制度について

答 定住や地域社会を担う人材確保を目的として、正規雇用が対象の奨学金返還制度には、今後一層の制度の周知に努める

問

①日野町奨学金返還支援制度で補助を受けられる対象者に正規職員と書かれています

が、その理由を教えてください。

②現行予算では、5人を対象としていますが、希望者が6人以上の場合はどのように対応されるのか、お聞かせください。

③滋賀県の保育士等奨学金返還制度の活用について、町の考えをお聞かせください。

的を達成するために正規雇用をされていることを条件としています。

②予算措置をしている以上、制度の希望者があった場合につきましては、基本的には補正予算などにより対応したいと考えています。

③当事業は、県内における保育士の確保を図るため、県と市町が協力して、待機児童の解消に向けた保育士の確保対策を目的としております。これにつきましては、当町他市町においても共通する事項であり、今後の保育士の育成において重要な対策であると考えています。

答

①日野町奨学金返還支援制度の対象者を正規雇用されている者としております。

ましては、この制度が日野町への、定住や地域社会を担う人材確保を目的としていることから、目的を達成するために正規雇用をされていることを条件としています。

奨学金返還支援制度を活用できることで、保育士を目指すとする若者の就労へのきつかけとな

り、様々な学びの場において、質の高い専門的知識の習得が可能となり、ひいては、保育士全体の質の向上にも関わってることから、町としても、今後一層の制度周知に努めてまいりたいと思っております。



問 西大路宅地整備事業はもっと工夫できたのでは？

答 正直なところ24区画売り切ることに精一杯だった



野矢 貴之 議員

問

日野町西大路に
おける宅地整備事

業はホームページに「令和5年8月4日をもちまして、コスモス ラーラ西大路全24区画の契約・引き渡し完了しました」と記載されている。大変ありがたい結果だ。

だが今回は、西大路に新築を建てたい人がいるという仮説と、文化的なつながりを取り除けば住んでくれるという仮説をごちゃ混ぜに試みた結果となった。日野が日野たる所以は文化であり大切にしたという町の方針と矛盾した施策にも見える。地域経済循環や文化的関りの側面など、もっと工夫できたのではないかと、議会の付帯決議はどうなった？

答

24区画売り切ること
に精一杯だった

ので、正直なところホッとしている。売ること
に一生懸命で他に手が及
んでなかったようにも思
う。

滋賀県土地開発公社は
特定の業者と連携しない
やり方だったので、地元
業者とのつながりをうま
くすすめていけなかった。
議会の付帯決議につい
て、平和堂跡地との連携
はうまくできていないの
で、これから総括してい
きたい。

空き家利活用は、行政
が不得手な部分も多い。
得手不得手をふまえ、民
間活力との連携で循環を
模索していきたい。



日野町は工務店ネットワーク
が強く、地元行事への貢献度も
高い

問

子ども基本法はなぜ制定された？

答 子ども基本法はなぜ制定された？

問

令和5年4月1日
子ども基本法が
施行された。中でも第11
条では「国及び地方公共
団体は、こども施策を策
定し、実施し、及び評価す
るに当たっては、当該こ
ども施策の対象となるこ
ども又はこどもを養育す
る者その他の関係者の意
見を反映させるために必
要な措置を講ずるものと
する。」とされている。こ
れは、こども施策へのこ
どもや若者の意見反映の
義務付けととらえられて
おり、地方行政の施策に
大きく関連してくるもの
と考える。

今までの人権施策とど
う違うのか？意見反映に
提案型協働事業が適して
いるのではないかと、中
高と少しずつレベルアッ
プするプレゼン大会があ
ってもいいのでは？

答

子ども基本法は
社会や歴史の変わ
り目ではないかと思う。

親を通じた施策ではなく
直接子どもを対象にして
いる。

提案型協働事業は共に
考えるだけでなく職員の
スキルアップについても
大きな役割になると思う。
「日野町をどんな街に
したいか考える」学習を
しているの、小中学校
が取り組みを共有して、

高校とも校種をまたいだ
取り組みに高めていけた
ら良いと思う。

納涼祭や運動会など、
子どもが参画する機会を
増やしていくことが重要
だと考える。

子どもが学習したこと
を家の人に伝えることも
大切だと思う。
意見の反映という意味
では、対象者や関係者の
意見を聞くことは非常に
大切なことである。



おとなやこどもの区別なく、
当事者・受益者・関係者と話し合っ
て決めよう！

問 農村型地域運営組織（農村RMO）への 伴走支援を問う



答 集落機能維持に向け各課が連携し支援していきたい



後藤 勇樹 議員

問

高齢化・人口減少の進行により、

日野町では農業生産活動や集落活動の実施のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活（子育て・買い物・通院等）などの集落維持に必要な機能も、全般的に弱体化してきているのが現状です。

このように厳しい現実には直面している状況では、農家、非農家が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取り組むことで、地域コミュニティの機能を維持・強化することが早急に求められていることから、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成について、昨年の3月・6月・9月議会に続き、町の伴走支援体制、県の支援体制、日野町が目指す農村RMOの姿を問います。

答

（町長・農林課・企画振興課）

日野町のような中山間地域では、従来の集落自治会単位から、より広域

的な範囲で、農家、非農家が一体となった資源管理、農業振興、生活支援への取り組みが求められている。

地域の複数自治会、組織、団体などが地域経営を行う視点に立ち、将来ビジョンを計画し、実行していく必要があると思う。

県の農林部局、観光部局、住宅部局等も、連携してRMOへの取り組みを支援している。町としても農林課、企画振興課、長寿福祉課などで連携して地域の方々や組織、団体と話を進めていきたい。その中で情報の提供や学習の機会づくりなどに努めたい。農村RMOは日野町の集落機能維持にとつて、大変有効な組織となると考えている。



問 文化財保存活用地域計画策定作業の進捗と 今後の取組みは

答 協議会を通じ今年度末に素案をまとめる予定

問

現在全国119市町村が認定を受けている文化財保存活用

地域計画だが、県内では7月に認定を受けた米原市をはじめ、草津市、甲賀市、近江八幡市、高島市、多賀町、長浜市、守山市、栗東市と既に9市町が認定を受けています。

日野町文化財保存活用地域計画は、町が取り組む目標や、その具体内容を記載した文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランであり、日野町総合計画の文化財版とも言える、町の文化財政策における最重要計画です。

現在、令和6年度の文化庁認定を目指した取り組みが行われていますが、その進捗と、認定後の町の取組み、各字や文化財

所有者との連携について問います。

答

（生涯学習課）
本年6月に3回

目の日野町文化財保存活用地域計画協議会を実施し、歴史文化の特徴、将来像、方針、措置等について協議した。また町内7地区公民館で「日野のたから大発掘ワークショップ」を開催し、208名の方から次世代に伝えたい文化財、その保存継承について声を聞かせていただいた。今後10月と来年1月にも協議会を実施し、年度末に素案をまとめる予定である。また、平成27年度に刊行した「ふるさと日野の歴史」編さん事業は一旦区切りを付けているが、町史の記録、調査、研究事業は引き続き実施する。

また生活に根差した文化も日野のたからとして、今後も聞き取りやワークショップを通じて掘り起こしを継続し、地域の皆さんと共有していきたい。先に質問いただいた農村RMOにおいても、その中で農村の景観や祭礼、芸能、食文化など生活に根差した文化財について、各RMO間での連携なども研究していきたいと思



「日野のたから大発掘ワークショップ」に取組む皆さん

問 農業用燃料高騰対策について

答 支援について国、県へ働きかける



西澤 正治 議員

問

秋の収穫期を迎え米作農家も繁忙期になりましたが、本年も米価はあまり期待できない状態です。しかしながら収穫作業に使用する農機具類の燃料の高騰は続いています。政府が石油元売り会社に支給されている補助金は9月末に切れるため再度検討されているようです。

昨年9月の軽油価格はリットル当たり145円、灯油は99円、本年8月の価格は軽油160円、灯油は120円と厳しい価格高騰で未だに高止まりがきかない状態です。本年も昨年に続き再考をお願いしたいと思いますが、町の考えを伺います。

答

現在も物価高騰が続いており、農業をはじめ、民間企業や生活者全てがその影響を受けている状況です。

昨年実施しました燃油高騰対策緊急支援事業については、農家の費用負

問 道路計画の構想について

答 県のルート案に左右されるため、提示後に検討する

問

町道西大路鎌掛線、県道西明寺安部居線、主要地方道土山蒲生近江八幡線はすでに用地測量業務に着手いただいています。

これらの道路整備と共に昨年4月、名神名阪連絡道路が重要物流道路の候補路線に指定され、本年4月に全線が計画区間に指定されました。順調に計画が進んでも完成までに20年以上先の事ですが、計画的な方線は今後4年の間に決定されるよ

担軽減に寄与できたのではないかと考えています。

同内容での実施は財源等の課題もあることから、すぐに結論を出すことは難しい状況ですが、支援について国、県に働きかけるとともに、近隣市町の情報収集に努め、研究したいと考えています。

答

名神名阪連絡道路につきましては、現在、滋賀県と三重県の両県が整備手法等を含め国と協議をされていますが、かなりの時間を要しているため、ルート案の提示が遅れています。

県のルート案提示の前に、町としてのルート案を検討し県に働きかける必要性もありますが、具体的な計画立案については、県のルート案により大きく左右されるものと考えており、提示後に進めていく考えです。

なお、今後、情報収集に努め、国、県等の動向を注視していきます。



ことばのまめ知識

～議会だよりの中に出てくる難しい言葉や専門用語の解説～

鈴鹿西縁断層帯(P-2)・・・ 滋賀県東部の鈴鹿山脈西縁に分布する活断層帯で、米原市(旧・米原町)から、甲賀市(旧・土山町)に至る断層帯。長さは約44kmで、ほぼ南北方向に延びている断層。なお、日野町では町の東部を南北に走っている。

A E D 講習(P-2)・・・ A E Dは日本語では「自動体外式除細動器」と言われる。この装置は呼吸や心拍が停止した人に対して、装置のパッドを胸に貼ることで、心臓の動きが異常か正常化かを自動的に判断して、異常と判断した時は電流を流して電気ショックを与え、心肺を蘇生させる装置のことで、この取り扱い方法に関する講習のこと。

加齢性難聴(P-5)・・・ 加齢に伴って特に言葉の音が聞こえにくくなるタイプの難聴のこと。いわゆる年をとって耳が遠くなる「老人性難聴」として日頃からなじみのある病気。

専決処分(P-6)・・・ 本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。

次ページは▼ 提出された議案と結果



町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
決算の認定（9議案）														
令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算	<p>*決算特別委員会で閉会中に継続審査 令和4年度一般会計他8会計の決算審査を行うため、11名の委員で構成する決算特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。</p> <p>▽委員長…西澤正治 ▽副委員長…福永晃仁 ▽委員…谷口、松田、柚木、野矢、山本、高橋、加藤、後藤、中西</p>													
令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算														
令和4年度日野町水道事業会計決算														
令和4年度日野町下水道事業会計利益の処分および決算														

議員提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
特別委員会の設置（1議案）・選挙（1件）														
決算特別委員会の設置	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
決算特別委員会の委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の制定（1件）														
日野町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
請願の審査（2件）														
国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	継続審査	委員会の結果である「継続審査」とすること に対して												
		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/
加齢性難聴者への補聴器購入に公費助成制度の創設を求める請願書	不採択	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	/
意見書の決議（1件）														
名神名阪連絡道路の建設促進を求める意見書決議 ◎提出者…後藤勇樹議員	決議	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/

意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧ください。か議会事務局までお問合せ下さい。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第6回定例会（9月1日～27日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
人事（7議案）														
人権擁護委員の候補者の推薦 正親肇氏（迫）	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町監査委員の選任 東源一郎氏（三十坪）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町固定資産評価審査委員会委員の選任（2議案） 増田昌一郎氏（西大路）、畝田鉄也氏（村井）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公平委員会委員の選任 廣瀬眞弓氏（上野田）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町教育委員会委員の任命 村井優子氏（西大路）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町西山財産区管理会財産区管理委員の選任 岩谷茂氏（内池）、池内俊宏氏（内池）、北西茂巳氏（猫田）、 藤崎純士氏（別所）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
一部改正（3議案）														
日野町印鑑条例の一部を改正する条例 個人番号カードの機能を搭載した移動端末設備を用いた民間端末機による印鑑登録証明書の交付の申請を可能とするための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症から住民の生命・健康を保護するための措置に係る作業に従事した町職員に対する特殊勤務手当の特例を廃止するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町都市公園条例の一部を改正する条例 有料公園施設「大谷公園プール」を廃止するための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（3議案）														
一般会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
介護保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員のうごき

(令和5年7月1日～9月30日)

公務名		場所	期間	出席議員
第41回 日野町消防団ポンプ操法訓練大会	来賓	桜谷小学校	7月2日	議長、副議長、 総務常任委員長、高橋、 加藤、後藤
市町村議会議員研修 「社会保障・社会福祉」	研修	全国市町村 国際文化研修所	7月3日 ～5日	野矢、加藤
市町村議会議員研修 「1年目議員のために」	研修	全国市町村 国際文化研修所	7月18日 ～20日	柚木
ダム・発電関係市町 滋賀県連絡協議会総会	構成員	多賀町中央公民館	7月21日	副議長
第58回滋賀県消防操法訓練大会 出場壮行会	来賓	日野消防署	7月30日	議長、副議長、 総務常任委員長、松田、 柚木、川東
市町村議会議員特別セミナー	研修	全国市町村 国際文化研修所	7月31日 ～8月1日	柚木
議会運営・事務基礎研修会	研修	彦根勤労福祉会館	8月3日	福永、谷口、松田、柚木、 川東
氏郷まつり「夏の陣」2023	地域交流	日野町役場	8月5日	議員全員
日野町戦没者追悼式	式典	わたむきホール虹	8月20日	議員全員
消防協会日野支部夏季総合訓練	来賓	日野川ダムグラウンド	8月27日	議長、副議長、 総務常任委員長、野矢
町内立地主要企業・事業所代表者と 日野町長との懇談会	来賓	林業センター	8月29日	議長、 産業建設常任委員長
日野町総合防災訓練	来賓	必佐小学校	9月3日	議長、副議長、 総務常任委員長、福永、 松田
県道西明寺安部居線 改良促進同盟会総会	来賓	東桜谷公民館	9月5日	議長、高橋、加藤、 後藤
29回日野町長杯 親善ゲートボール大会	来賓	大谷公園スポーツ広場	9月7日	副議長
秋の全国交通安全運動街頭啓発	地域交流	町内	9月21日 ～30日	議員全員
桜谷小学校運動会	来賓	桜谷小学校	9月23日	高橋、加藤、後藤
西大路小学校運動会	来賓	西大路小学校	9月23日	野矢、山本
必佐小学校運動会	来賓	必佐小学校	9月23日	福永、松田、川東
全国町村議会広報研修会	研修	日経ホール	9月26日	福永、松田
第2回日野町国際親善協会理事会	構成員	防災センター研修室	9月26日	総務常任委員長

その他

通常公務として日野町議会定例会

一部事務組合 東近江行政組合議会／中部清掃組合議会

議長公務 約20件 などがあります。

請願・陳情等の手引き

誰でも、町政などについて意見や要望などを請願・陳情として町議会へ提出することができます。

詳しい手引きについては、日野町ホームページまたは二次元コードからご覧ください。

請願・陳情

サイト内検索



「議会だより」へのご意見をお寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。



議長 コラム



議長 杉浦和人
子どもたちの
そのまた子ども
たちのために

利用者の極端な減少による「ローカル鉄道のあり方」の問題や、運転手不足による「バス路線廃止」が全国各地で顕在化している中、日野町では今年3月「チョイソコひの」実証実験がスタートし、また、町外への移動手段である近江鉄道は来年4月「上下分離」に移行します。この「上下分離」に必要な事業費が今般、法定協議会から示されましたが、日野町をはじめ沿線市町に大きな負担が生じることとなります。

私は「車を運転できない高校生や高齢者のため、また将来、公共交通が必要となる子どもたちの移動手段をどうやって確保していくのか」を常に申し上げています。その財源にもしっかりと議論をして参ります。

公共交通を守るための財源では、三日月知事が「滋賀県の移動手段のあるべき姿を描き、これを実現するための交通税の検討を始める」を公約に掲げ、昨年の選挙で当選されました。これを踏まえ、県は「滋賀地域交通ビジョン」の策定を進めています。知事には合わせて「ビジョン実現のため財源の議論」も逃げずに進められることを願っています。

議会 広報常任委員会

- 委員長 高橋源三郎
- 副委員長 松田 洋子
- 委員 福永 晃仁
- 委員 谷口 智哉
- 委員 柚木記久雄
- 委員 川東 昭男
- 委員 中西 佳子

第25号の「議会だより」楽しんでいただけましたでしょうか。町民の皆さまに、まずは手に取ってもらい「これは何？」とインパクトがあるように18期の議会だよりは表紙を横向きにしてみました。

議会だよりは「議員の手作り」です。「紙面の充実をどのようにしたらいいのか」「もう少しわかりやすい言葉で」「文字ばかりだと読みづらい」などの意見が出てきています。議会広報常任委員会で十分に議論して、改善するところは改善し、これからも町民の皆さまに親しみやすい広報誌を目指してまいります。

(松田 洋子)

編集後記

12月定例会(本会議)のお知らせ「予定」

- 12月1日(開会・提案説明)
- 13日(質疑・一般質問)・14日(一般質問)
- 25日(採決・閉会)

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん



新人議員研修が ありました

研修

8月3日、この日は4月の選挙で初当選した5名の新人議員と議会事務局の職員が彦根勤労福祉会館で研修を受けました。地方自治法や議会における様々なルールについて学びました。

式典

日野町戦没者追悼式に 参列しました

8月20日、日野町戦没者追悼式がわたむきホール虹にて執り行われました。太平洋戦争に従軍し、戦死された町民約千人の霊に遺族の皆さんと共に議員も献花し、黙とうしました。本年も日野少年少女合唱団の皆さんにもご参加いただきました。



全国町村議会広報研修会に行ってきました

研修



9月26日に東京の日経ホールにて開催された全国町村議会広報研修会に参加しました。広報誌を書く時のポイント、気を付けることなどを学んできました。研修を終えると、「こんな風に」とかいろいろアイデアが浮かんできました。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。